# Marriage Bridge

~結婚への架け橋~

名古屋市立大学 森田ゼミ

児玉朱音 榊原彩花 佐藤蓮悠 宮下智紀

## 目次

- 調査理由
- アンケート内容とその説明
- 分析方法の説明
- 仮説
- 分析結果と考察
- ・現在の政策と改善案

## 研究理由

日本における少子化問題。

→**未婚化**が大きな要因の一つになっている。

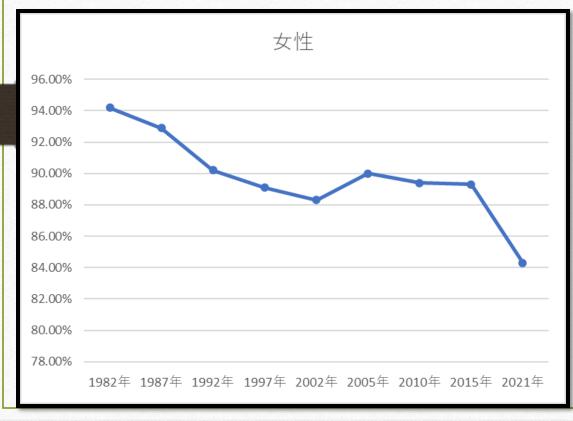
昔に比べ、結婚に関する考えの幅が広がっている。

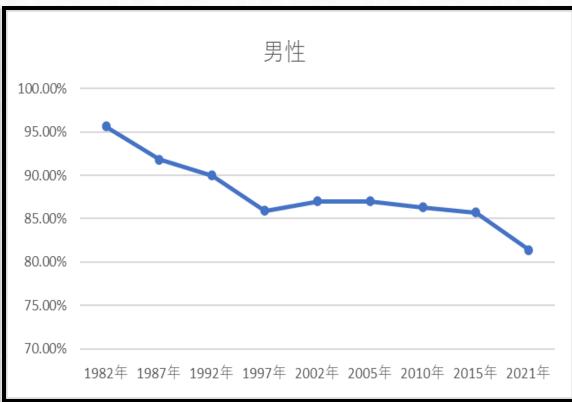
(結婚後仕事を続ける女性の増加。子供をもたない夫婦の増加。男性の育児休暇など...)

→結婚を望む男女は年々減少している。

未婚者の結婚を妨げている要因を調べることで、今後の未婚化を解消する対策案を見出す。

## 未婚者の生涯結婚意思の推移





第16回出生動向基本調査より

2. アンケートについて

## アンケート内容

- ・**対象者** 20代~30代の未婚、既婚の男女(学生は除く)
- ・アンケート場所栄、名古屋
- ・アンケート形式 Googleフォームを用いた街頭アンケート

	合計	未婚	既婚
男性	80人	61人	19人
女性	100人	59人	41人

# アンケート集計結果

#### ①未婚者、既婚者両方にアンケート→180人

アンケート項目 対未婚者/既婚者	
結婚しているかしていないか	
相手に求める年収	0~1000万以上を100万単位で分け、選択してもらう。
相手に求める家事/育児負担割合	0:10~10:0の11段階評価をしてもらう。
時間的余裕がある(仕事)	1 (ない) ⇔ 5(ある)
時間的余裕がある(趣味)	1 (ない) ⇔ 5(ある)
趣味にかけたいお金	1 (かけたい) ⇔ 5(かけたくない)
年代別貯蓄と比べ貯蓄はどれくらいあるか	1 (余裕がない) ⇔ 5(余裕がある)
出会いは身近にあるかどうか	1 (困っていない) ⇔ 5(困っている)

#### ②未婚者のみにアンケート→120人

アンケート項目(対未婚者)	
結婚願望度	1 (低い) ⇔ (高い) 4
家事、育児、経済力、年齢の中 で何を重視するか	家事、育児、経済力、年齢を1位~4位でランキング付け をしてもらう。

## 分析方法

#### 1回帰分析

被説明変数:結婚願望度

説明変数:理想年収、相手に求める家事、育児の負担割合

仕事の忙しさ、趣味に使う時間とお金、貯金額

出会いの少なさ

有効値: t 値 絶対値1.8以上

p值 5%以下

## 分析方法

## ②プロビット分析

被説明変数: 結婚している $\rightarrow 1$  していない $\rightarrow 0$ 

説明変数:理想年収、相手に求める家事、育児の負担割合

仕事の忙しさ、趣味に使う時間とお金、貯金額

出会いの少なさ

有効値: z **絶対値1.8以上** 

# 仮説①

#### 結婚願望度

説明変数	影響	正負	根拠
家事(相手に求める)		7	自己負担を増やしてもいいと考える人ほど願望が高
育児(相手に求める)		7	い
理想の年収		7	相手への理想が低い人ほど願望が高い
時間的余裕(仕事)	$\bigcirc$	7	仕事や趣味で忙しい →時間がないため結婚を考える余裕がない
時間的余裕(趣味)		7	一方面のないにの配箔を考える赤色のない
趣味にかけるお金	0	7	趣味にお金をかけたい →結婚のためのコストを払いたくない
貯金		7	お金がある人ほど結婚へのコストを厭わない
出会いの少なさ	$\bigcirc$	7	出会いが少ない人ほど結婚に焦る

# 仮説②

#### 既婚/未婚

説明変数	影響	正負	根拠
家事(相手に求める)		7	相手への要求が低い人ほど結婚できる
育児(相手に求める)		7	伯子への女外が良い人はこ 和始 くさる
理想の年収		7	高望みする人ほど結婚を遠ざける
仕事の忙しさ		7	仕事や趣味で忙しい
趣味にかける時間		7	→時間がないため結婚を考える余裕がない
趣味にかけるお金	$\bigcirc$	7	趣味にお金をかけたい →結婚のためのコストを払いたくない
貯金	$\bigcirc$	7	お金がある人ほど結婚へのコストを厭わない
出会いの少なさ	$\bigcirc$	7	出会いがある人ほど結婚できる

#### 女性の家事、育児回帰分析分析結果

女性	係数	t値	P値
切片	3.93273	14.16	2.72e-027
育児	-0.04122613	-0.4853	0.6284
家事	-0.187027	-1.926	0.0565

家事について結婚願望度に対して負の相関がみられる。

n = 59

#### 男性の家事、育児 回帰分析 分析結果

男性	係数	t 値	P値
切片	3.43799	8.640	3.04e-014
育児	0.0150337	0.1296	0.8971
家事	-0.131445	-1.172	0.2436

家事、育児どちらに関しても有効値は得られなかった。

n = 6.1

## 結果からわかること

#### 家事

女性は、自分が家事を 負担してもかまわない と考える人ほど、結婚 に対する願望度が高い。

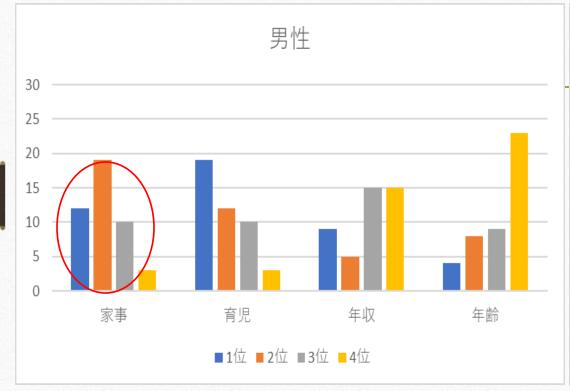
↓仮説通り

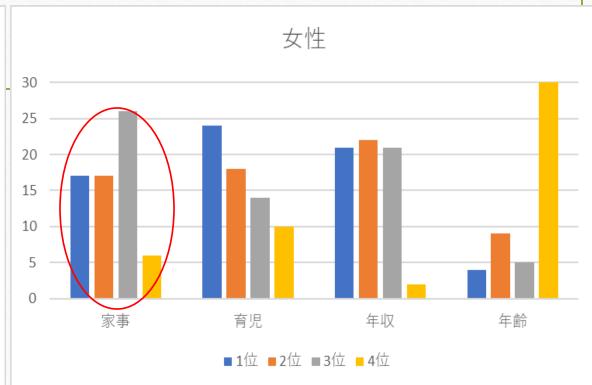
#### 育児

男女ともに、自身の考える育児負担と結婚願望度は相関がない。

結婚の決め手には なりにくい

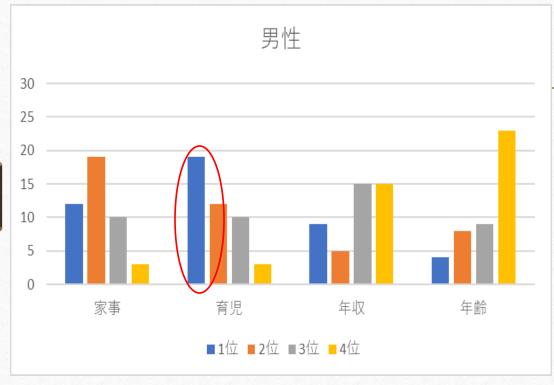
# ランキング (家事)

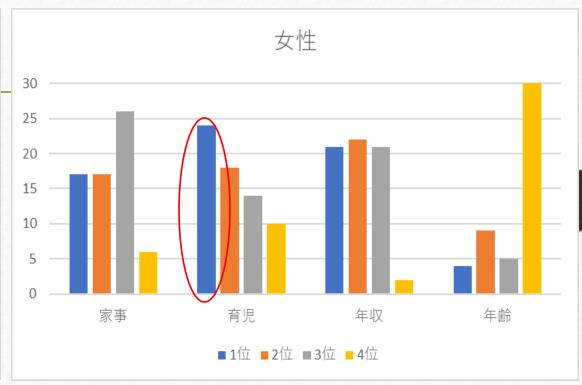




男女ともに2位、3位に選ぶ人が一番多い →**一番重視する項目ではない**ことがわかる。

# ランキング (育児)





男女ともに1位に選ぶ人が多い →**相手に育児参加を求める人が多い** 

# 考察

## 家事

相手に対して求めることとして家事の優先度が低く、特に女性は自身が負担してもよいと考えている人が多い。

### 育児

結婚願望度に影響ない、一方で重要と考える人が多い。

→結婚する決め手にはならないが、 結婚生活においては必要不可欠

## 男性 プロビット分析 結果

	係数	$\mathbf{z}$	限界効果
切片	-0.383167	-0.3788	
仕事の忙しさ	0.282946	1.659	0.107820
趣味にかける時間	0.352884	1.778	0.134470
趣味にかけるお金	-0.316533	-1.308	-0.120619
貯金	0.0267441	0.1308	0.0101911
出会い	-0.201465	1.854	-0.0767705

### 女性 プロビット分析 結果

	係数	${f Z}$	限界効果
切片	-2.87143	-3.089	
仕事の忙しさ	0.192739	1.273	0.0695982
趣味にかける時間	0.582001	3.140	0.210161
趣味にかけるお金	0.111345	0.6389	0.0402066
貯金	0.207731	0.9905	0.0750117
出会い	-0.160829	1.625	0.0580752





## プロビット分析の結果

男性:出会いの少なさ

結婚の有無との間に<u>負の相関</u>

→出会いの場を増やす必要がある

女性:趣味にかける時間

結婚の有無との正の相関

→趣味と結婚を結び付ける場があるとよい









# 考察

- ・男性:出会いがないと考えている人ほど結婚できていない
- ・女性:趣味に時間をかける人ほど結婚できていない
- 1. 趣味に時間をかける人が多いため、出会いの機会が失われている
- 2. 出会いの場が失われることで結婚できない人が増えている





## 30歳以下プロビット分析

	係数	$\mathbf{z}$	限界効果
切片	-3.73098	-3.479	
仕事の忙しさ	0.0287876	0.1532	0.00515278
趣味にかける時間	0.407070	2.228	0.0728626
趣味にかけるお金	0.373435	1.897	0.0668421
貯金	0.337199	1.553	0.0603561
出会い	-0.134826	-1.371	-0.0241328

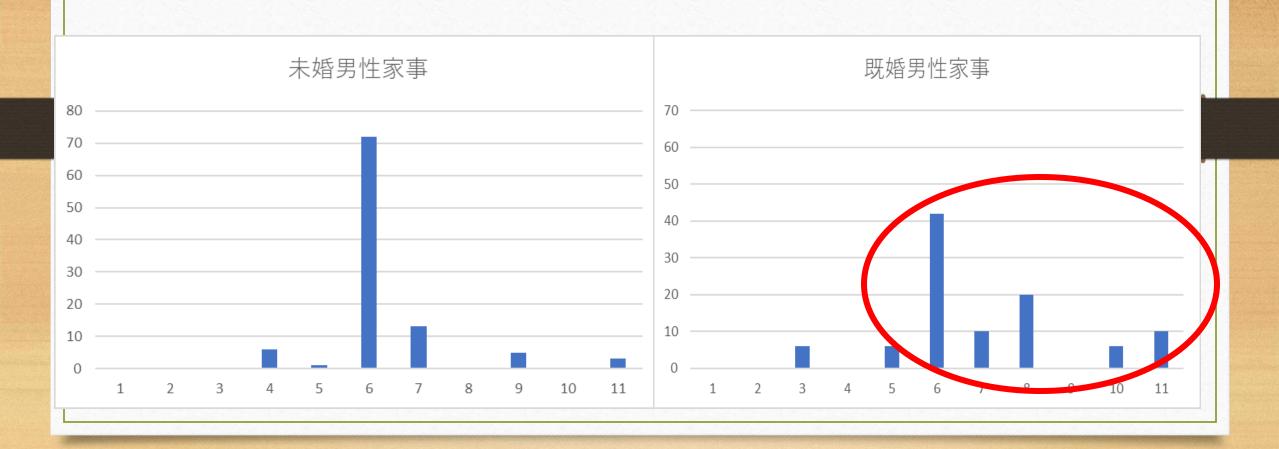
## 31歳以上プロビット分析

	係数	z	限界効果
切片	0.08442	0.0595	
仕事の忙しさ	0.246370	1.278	0.082012
趣味にかける時間	0.366747	1.397	0.122083
趣味にかけるお金	0.123167	0.484	0.041000
貯金	-0.257375	-0.720	0.085675
出会い	-0.291734	-1.737	-0.097113

#### 30歳以下プロビット分析より

- ・若い年齢層では趣味に時間やお金をかけてない人ほど結婚しているという傾向がある。
- ・結婚に繋がる行動や結婚を考える時間が少ないため、結婚につながらない。
- ・趣味を重視しているため、結婚により自分の趣味 の時間やお金に変化が生じることをマイナスに感じ る人が多い。

## 未婚者・既婚者の比較(男性の家事)

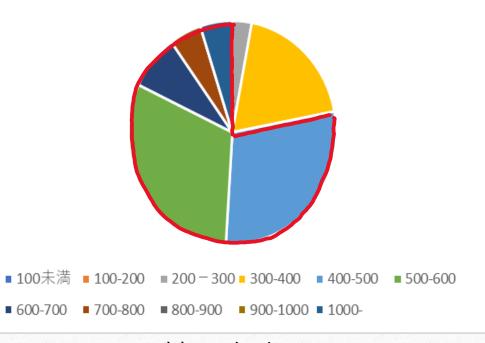


## 未婚者・既婚者の比較(女性の家事)

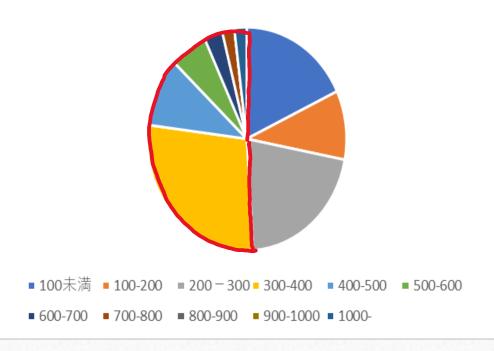


#### 相手に求める年収(1)

女性が男性に求める年収

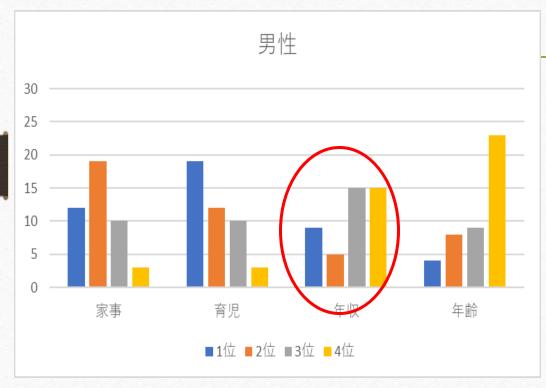


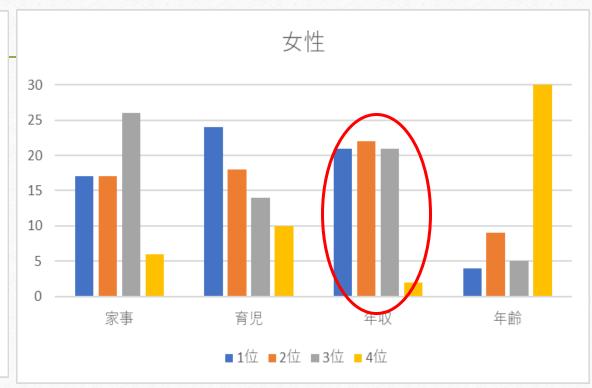
男性の年収 中央値約350万 男性が女性に求める年収



女性の年収 中央値約270万

## 相手に求める年収(2)





#### 女性が特に相手に求める年収の重視度が高い

→年収の高望みと相まって、結婚を阻害する要因になっている可能性がある

#### 考察

女性について、相手に求める年収が男性の年収中央値よりも高い人がとても多い。

(全体の70%強)

男性も、相手に求める年収が女性の年収中央値よりも高い人が過半数を超える。

考察では、男性は女性に対してあまり経済的余裕を求めないと考えていたが、最近は男性も女性に対して経済的余裕を求めるようになっている。

相手に求める年収が高すぎるため結婚にあまり繋がっていない可能性あり。

説明変数	全体	男	女	-30	31-
家事	×	×	×	×	×
育児	×	7	×	×	×
時間的余裕(仕事)	7	×	×	×	×
時間的余裕(趣味)	7	×	7	7	×
趣味に使うお金	×	×	×	7	×
貯金	X	×	×	×	×
出会いのなさ	7	7	×	×	×

# プロビット分析 結果まとめ

## まとめ

- 結婚願望が高まるほど、相手に求める家事の負担が減る
- 育児は結婚生活において重要
- 趣味に時間やお金をかけない人ほど結婚できている。
- 出会いがないと答える男性が多い。
- 年収の高望みが存在する。

4. 現在の政策と改善案

#### 現在の政策

#### 結婚新生活支援事業

「結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活の スタートアップに係るコスト(新居の家賃、引越費用等)を支援する地方自治体を 対象に、国が地方自治体による支援額の一部を補助する」制度

対象...夫婦ともに婚姻時の年齢が34歳以下かつ世帯所得340万円以下の新規婚姻補助対象...婚姻に伴う住宅取得・賃貸費用または引越費用補助金額...1/2(最大60万円)

#### 都道府県ごとの婚活支援事業

「あいち 出会いサポート "あいこんナビ"」 婚活イベントに関する情報を手軽に入手できる。





## 改善案

•年収の高望み問題

解決策①SNSを使って支援制度を広める。

②学校で結婚に関する支援の教育を取り入れる

理由:年収の高望みは将来への不安の表れ

→将来に不安を感じるのは結婚支援制度が浸透していないから

•出会いがない、趣味に時間を充てたい人が多い問題

解決策:趣味の時間と出会いを結びつけるマッチングサービス





ご清聴ありがとうございました

## 参考文献

Microsoft Word - JNFS16Gaiyo 20220825a 書式整形.docx (ipss.go.jp) 男性女性の未婚率推移!年齢別20代,30代,40代,50代全て上昇傾向に転じる (nayami-sodan.net)

en (jst.go.jp)

結婚の意思決定に関する分析~「結婚の意思決定に関する意識調査」の個票を用いて~(cao.go.jp)

- Microsoft Word JNFS16Gaiyo 20220825a 書式整形.docx (ipss.go.jp)
- 結婚新生活支援事業について: 子ども・子育て本部 内閣府 (cao.go.jp)
- あいち出会いサポートポータルサイトあいこんナビ (aiconnavi.jp)